山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第22週

（2025年5月26日～2025年6月1日）　　2025年6月4日 発行

山形県感染症情報センター（山形県衛生研究所）
TEL.023-627-1109

＜定点把握感染症＞

◎ :警報レベル　○ :注意報レベル

定点種別	感染症	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積（県）
		第21週	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第1～22週
感染症呼吸器定点	内科・小児科（定点医療機関数）		(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	2035 0.53	28 0.72	11 0.28	▼	7 1.00	2 0.29	▽	6 0.60	3 0.30	▼	3 0.75	2 0.50	▽	2 0.33	2 0.33		10 0.83	2 0.17	▼	6456
	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	3229 0.84	33 0.85	27 0.69	▼	7 1.00	1 0.14	▽	6 0.60	9 0.90	△	5 1.25	5 1.25		8 1.33	7 1.17	▼	7 0.58	5 0.42	▼	3016
小児科定点	（定点医療機関数）		(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
	RSウイルス感染症	746 0.32	19 0.73	19 0.73		11 1.83	2 0.33	▽	2 0.29	4 0.57	△	1 0.33	1 0.33		3 1.00	11 3.67	△	2 0.29	1 0.14	▼	413
	咽頭結膜熱	1343 0.57	13 0.50	25 0.96	△	3 0.50	1 0.17	▼	1 0.14	8 1.14	△		2 0.67	△	9 ◎3.00	12 ◎4.00	▲		2 0.29	△	243
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6700 2.84	60 2.31	76 2.92	△	18 3.00	30 5.00	△	8 1.14	9 1.29	△	1 0.33		▼	30 ◎10.00	33 ◎11.00	△	3 0.43	4 0.57	△	1501
	感染性胃腸炎	16422 6.96	130 5.00	114 4.38	▼	18 3.00	24 4.00	△	53 7.57	34 4.86	▼	11 3.67	5 1.67	▼	31 10.33	25 8.33	▽	17 2.43	26 3.71	△	3164
	水痘	1397 0.59	31 ○1.19	20 0.77	▽	12 ◎2.00	7 ◎1.17	▽	8 ○1.14	6 0.86	▽	5 ○1.67	1 0.33	▽	5 ○1.67	2 0.67	▽	1 0.14	4 0.57	△	271
	手足口病	421 0.18	5 0.19	1 0.04	▽				1 0.14		▼	4 1.33	1 0.33	▽							184
	伝染性紅斑	4656 1.97	124 ◎4.77	151 ◎5.81	△	25 ◎4.17	39 ◎6.50	△	70 ◎10.00	62 ◎8.86	▼		3 1.00	△	14 ◎4.67	16 ◎5.33	▲	15 ◎2.14	31 ◎4.43	△	1245
	突発性発しん	934 0.40	12 0.46	17 0.65	△	2 0.33	3 0.50	△		2 0.29	△				8 2.67	7 2.33	▽	2 0.29	5 0.71	△	178
	ヘルパンギーナ	197 0.08	1 0.04		▽				1 0.14		▽										11
	流行性耳下腺炎	215 0.09		2 0.08	△		1 0.17	△											1 0.14	△	24
眼科定点	（定点医療機関数）		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	36 0.05																			0
	流行性角結膜炎	550 0.79		3 0.38	△								3 3.00	△							106
基幹定点	（定点医療機関数）		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	90 0.19	1 0.10		▼	1 0.50		▼													28
	クラミジア肺炎	3 0.01																			0
	マイコプラズマ肺炎	181 0.38	2 0.20	5 0.50	▲		1 0.50	△					1 1.00	△	1 0.50		▽	1 0.33	3 1.00	△	111
	細菌性髄膜炎	8 0.02																			2
	無菌性髄膜炎	14 0.03																			1

・表中の数値　上段：報告数　下段：定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲：2週連続増加、△：今週増加、▼：2週連続減少、▽：今週減少

＜通 信 欄＞

○トピックスでは、「伝染性紅斑」と「百日咳」について掲載しています。

○インフルエンザ情報
第22週における県内のインフルエンザに関する情報は以下のとおりです。
・迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数
A型：2件、B型：8件、AB両型：1件（定点医療機関からの報告）
・インフルエンザウイルス検出状況（衛生研究所 2024.9.2～2025.5.20）
今シーズン（2024年36週～）の患者から、AH1pdm09が211件、AH3が12件、B型が13件検出されています。

警報・注意報の基準値（参考値）

感染症	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙（グラフページ）をご覧ください。
・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

＜定点把握感染症　年齢別報告数＞

種別	定点	感染症														合計
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
		インフルエンザ	1		1									3	5		11
			30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
							1										
		新型コロナウイルス感染症（COVID-19）	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
			1	1	2	1	3		1	1				6			27
			30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
			4		1	2	1	3									
小児科定点			～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	
		RSウイルス感染症	2	4	7				1	2			1	1	1		19
		咽頭結膜熱		2	13	5	1	1	1	1		1					25
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	1	5	7	6	8	13	14	3	15		3	76
		感染性胃腸炎		10	26	12	9	7	8	7	6	6	9	11	1	2	114
		水痘		1	1			2	1		4	2	3	6			20
		手足口病											1				1
		伝染性紅斑		2	6	6	14	16	18	15	17	25	21	10		1	151
		突発性発しん		1	9	6	1										17
		ヘルパンギーナ															0
		流行性耳下腺炎								1		1					2

＜全数把握感染症＞

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核			1			
侵襲性肺炎球菌感染症					1	第21週追加報告分 ワクチン接種歴：4回
梅毒				1	2	
百日咳	20	4		13	4	第21週追加報告(1) ワクチン接種歴：4回(23)、1回(1)、不明(17)

＜トピックス＞

伝染性紅斑と百日咳が増加しています

第22週における伝染性紅斑の県定点当たり報告数は5.81で、8週連続で警報レベル(参考値)となりました。また、百日咳の報告数は40人で、全数報告が始まった2018年第1週以降、最多の報告数となりました。前週と比べ、置賜、庄内保健所からの報告が増えています。(下図参照)

どちらの感染症も感染経路は飛沫感染と接触感染です。

「手指衛生」「咳エチケット」「換気」等の基本的な感染対策に努めましょう。

【伝染性紅斑】

小児を中心にみられる流行性の発しん性の感染症で「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

約10～20日の潜伏期を経てかぜのような症状がみられ、その後、両頬に紅い発しんが現れます。かぜような症状がみられる時期にウイルス排出が最も多くなり、発しんが現れたときには感染力はほぼ消失しています。

妊婦が感染すると、胎児にも感染する可能性があるので特に注意しましょう。

【百日咳】

けいれん性の咳発作を特徴とする感染力が強い急性気道感染症です。乳児(特に新生児や乳児早期)では重症化することがあります。

通常5～10日間(最大3週間程度)の潜伏期を経てかぜ症状にはじまり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

〈予防と対策〉

百日咳ワクチンを含む5種混合ワクチンが定期接種で行われています。重症化予防の観点から、定期接種の対象(月齢)に達した乳児は、すみやかに接種を受けることが重要です。また、特に乳児や妊婦が周辺にいる方は感染に注意し、長期の咳が持続する場合は早めに医療機関を受診しましょう。

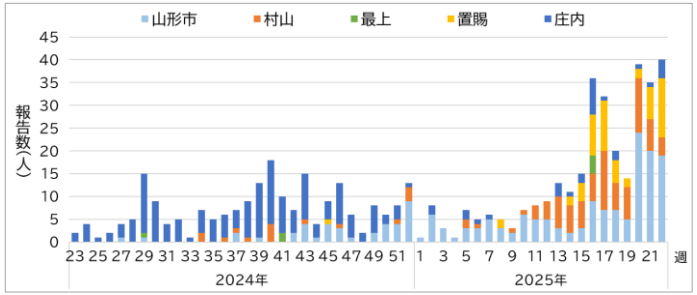


図　百日咳保健所別報告数（第22週現在）

【急性呼吸器感染症サーベイランス（症候群サーベイランス）】

＜定点把握感染症＞

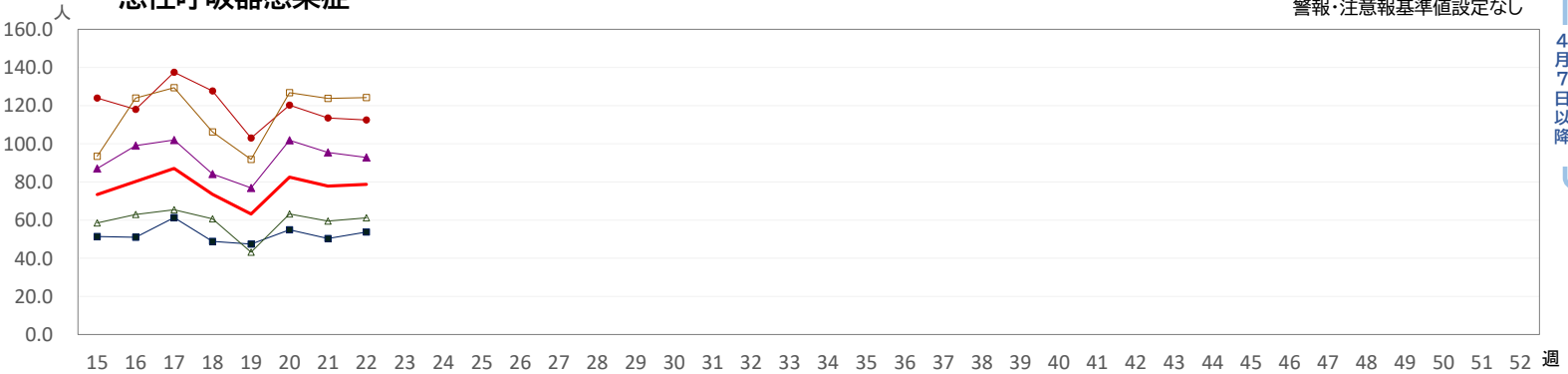
感染症	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積（県）
	第21週	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第21週	第22週	増減	第15～22週
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 （定点医療機関数）		（38）			（7）			（10）			（4）			（5）			（12）			
急性呼吸器感染症	220611	2958	2992	△	668	650	▼	503	537	△	454	450	▼	619	621	△	714	734	△	23352
	57.29	77.84	78.74		95.43	92.86		50.30	53.70		113.50	112.50		123.80	124.20		59.50	61.17		

・表中の数値　上段：報告数　下段：定点当たり報告数
・定点当たり報告数が、▲：2週連続増加、△：今週増加、▼：2週連続減少、▽：今週減少

＜定点把握感染症 年齢別報告数＞

感染症	山形県 第22週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
急性呼吸器感染症	230	1221	692	345	79	52	73	72	43	72	61	52	2992

＜定点当たり報告数グラフ＞



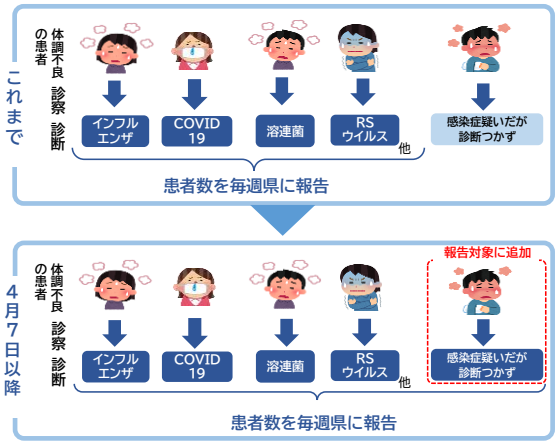
急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、**症例定義**※に一致する患者数の発生を把握する**症候群サーベイランス**です。

※咳嗽（がいそう）、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「（診断名のつかない）急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▸▸▸